

第2回民主主義のためのサミット
首脳プレナリーにおける岸田総理ステートメント

2023年3月29日

まず、第2回民主主義のためのサミットを主導するバイデン米国大統領、このセッションの議長を務めるルッテ・オランダ首相に敬意を表します。私は、ここに集う各国のリーダーが、民主主義の維持、強化に向けた取組を主導するため、決意を新たにすることの意義を強調したいと思います。

我が国は、昨年12月に策定した国家安全保障戦略で、世界的に最も成熟した、そして安定した先進民主主義国の一つとして、普遍的価値・原則の維持・擁護を各国と協力する形で実現することに取り組み、国際社会が目指すべき範を示すとの基本的な原則を改めて明らかにしました。

世界各地では、自由や人権が抑圧される例が後を絶ちません。北朝鮮による拉致問題は、基本的人権の侵害という国際社会の普遍的問題です。我が国は、こうした深刻な国際的な人権問題について、国際社会と連携し、現実を変えるための責任ある行動を強く求めています。

本年、日本は国連安保理非常任理事国及びG7議長国として、各国と協働し、法の支配に基づく国際秩序の維持・強化に向けて取り組んでいます。

先週、私は、ウクライナを訪問し、ゼレンスキー大統領と会談しました。侵略の現場を自分の目で見、悲惨な体験をされた方から直接話を伺い、我々人類は、社会が従うべき規範を法の支配に置かねばならないとの思いを新たにしました。

法の支配がないことで一番困るのは、脆弱な国、脆弱な環境に置かれている人々です。国際社会が守るべき最低限の基本原則を皆で再確認し、推進する、それによってはじめて、世界の平和を築いていくことができるのです。

その基本原則の一つである民主主義を維持・強化するために、日本は、特に、日々の努力を重ねる「人」に着目し、「人づくり」を支援しています。個人の多様性や国家の歴史的・文化的な背景を尊重しながら、「対話」と「協力」を続けていくという日本の基本的考えは不変です。二国間対話を通じて相手方の意見に耳を傾け、協力を積み重ねることで、各国の自主的な取組を後押ししていきます。

日本は、引き続き、アジアを中心に世界各地の約80か国に対して、民主主義の土台となる人材育成、メディアの自由の強化、選挙、汚職対策、司法を含む各種制度の構築・整備・強化支援を行っています。

アフリカでは、司法・行政分野の制度構築やガバナンス強化、教育支援や雇用機会の創出等を通じ、民主主義の定着や法の支配の推進に向けたアフリカ自身の取組を支援しています。

さらに、日本は、今後3年間で法の支配やガバナンス分野における1,500人以上の人材育成を行い、国と国・人と人との繋がりやネットワーク作りを強化していきます。

安定した民主主義、確立した法の支配、成熟した経済、豊かな文化に育まれた日本自身の発展も、平和で安全な社会とそれを支える「人」によって維持されてきました。民主主義にゴールはありません。我が国は、引き続き、国際社会と協力し、民主主義の強化に向けた取組を主導していきます。

御清聴ありがとうございました。